

令和7年度予算審査特別委員会会議録（第1号）

1. 招 集 年 月 日 令和8年3月3日（火）
2. 招 集 の 場 所 海田町役場全員協議会室
3. 開 会（開 議） 3月3日（火）午後0時55分宣告（第1日）

~~~~~○~~~~~

4. 出 席 委 員（15名）

|     |         |     |              |
|-----|---------|-----|--------------|
| 1番  | 後 原 一 隆 | 2番  | 夏 野        光 |
| 3番  | 和 田 法 子 | 4番  | 白 井 政 志      |
| 5番  | 石 橋 京 子 | 6番  | 西 田 誠 一      |
| 7番  | 玉 川 真 里 | 8番  | 小 田 久美子      |
| 9番  | 大高下 光 信 | 10番 | 大 江 康 子      |
| 11番 | 宗 像 啓 之 | 12番 | 岡 田 良 訓      |
| 13番 | 久留島 元 生 | 14番 | 多 田 雄 一      |
| 15番 | 崎 本 広 美 | 議長  | 桑 原 公 治      |

~~~~~○~~~~~

5. 欠 席 委 員

な し

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため委員会に出席した者の職氏名

|            |   |              |
|------------|---|--------------|
| 町          | 長 | 竹野内 啓 佑      |
| 副        町 | 長 | 夏 目 啓 一      |
| 教        育 | 長 | 森 山 真 文      |
| 企 画    部   | 長 | 脇 本 健二郎      |
| 総 務    部   | 長 | 鶴 岡 靖 三      |
| 町 民 生 活 部  | 長 | 丹 羽        勤 |
| 福 祉 保 健 部  | 長 | 森 川 雅 枝      |
| 建 設    部   | 長 | 木 村 生 栄      |
| 教 育    次   | 長 | 新 藤 正 敏      |
| 企 画   部 次  | 長 | 吉 本 真 人      |

|               |       |
|---------------|-------|
| 建設部次長         | 門前誠司  |
| 資産活用課長        | 久保隅 聡 |
| 財政経営課長        | 倉本勇 登 |
| 総務課長          | 中村修 介 |
| 防災課長          | 松井良 哲 |
| デジタル推進課長      | 富田 誠  |
| 地域みらい課長       | 山田長 秀 |
| 税務課長          | 杉本幸 穂 |
| 住民課長          | 水川綾 子 |
| 社会福祉課長        | 田村健 二 |
| こども課長         | 大村 隆  |
| 長寿保険課長        | 岩本宏 美 |
| 健康づくり推進課長     | 下田由香里 |
| 建設課長          | 早稲田 誠 |
| 上下水道課長        | 吉川 寛  |
| 会計管理者         | 森原知 美 |
| 学校教育課長        | 立田春 美 |
| 生涯学習課長        | 下野武 士 |
| ひまわりプラザ館長     | 北川知 世 |
| まちデザイン課建築営繕室長 | 矢熊健 治 |
| 文教施設整備室長      | 重西康 平 |

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

7. 職務のため委員会に出席した者の職氏名

|        |       |
|--------|-------|
| 議会事務局長 | 中山えり  |
| 次長     | 戸成正 考 |
| 主任     | 須崎 亮  |

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

8. 付託案件

第8号議案 令和7年度海田町一般会計補正予算（第9号）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

## 9. 議 事 の 内 容

○委員長（宗像）よろしいですか。それではこれより予算審査特別委員会を開会します。

ただいまの出席委員数は15名でございます。定足数に達しておりますので委員会は成立いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日は傍聴希望がございますので、これを許可しておりますので、あらかじめ御了承ください。本委員会に付託された案件は、第8号議案、令和7年度海田町一般会計補正予算第9号でございます。審査に先立ちまして町長から発言の申出がございますので、これを許します。町長。

○町長（竹野内）皆さん、大変お疲れ様でございます。先ほど定例会で付託をされました補正予算につきまして、本予算特別委員会です、御審議いただくこととなっております。皆様方におかれましては、十分に御審議をいただきましてですね、是非とも是非とも、御検討いただきますよう、よろしくお願いを申し上げまして、開会の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（宗像）それでは審査に入ります。本委員会に付託されました案件については、町長の提案理由及び主管課長の説明は終わっております。審査は、予算説明書の歳入と歳出にそれぞれで質疑を行い、最終的に討論、採決を行います。ここで皆様に御協力をお願いします。各委員の皆様、質疑は原則一問一答形式により、回数には制限ございませんが、簡潔に行っていただくようお願いします。また、質疑が一般質問や弁論にならないよう、よろしくお願いいたします。執行部の皆さんにおかれましては、答弁は質疑の趣旨に沿って簡潔に要領良く的確に行い、簡潔にね、メモを取るなどして答弁漏れがないようお願いします。答弁の際には、挙手の上、職名を名乗っていただくようお願いします。

それでは、第8号議案、令和7年度海田町一般会計補正予算第9号を議題とします。資料12、補正予算説明書を御用意ください。まず歳出から行います。質疑があれば許します。玉川委員。

○委員（玉川）幾つか小さいこともございますが、まず一つずつお聞きいたします。まず、21ページの研修事業についてでございますが、76万7,000円残っているということだったんですけれども、令和7年度についてはいろいろ新しい研修を行われたかなというふうに思うんですが、76万7,000円の残が出ているということは、こういった経緯でございましょうか。

○委員長（宗像）総務課長。

○総務課長（中村）計画研修事業の執行残の内訳でございます。21 ページの 18 に書いておるのですけれども、市町村職員中央研修所、市町村アカデミーに参加させる予算について、7 名分を当初予算で組んでおったのですが、業務等の都合により 6 名しか行かせられなかったため、その執行残を整理するものでございます。また、あわせまして自治大学校負担金につきましても、候補者の業務の都合等、諸事情によりまして参加させることができなかったため、これを整理するものでございます。それから、自衛隊の生活体験研修というのを予定しておったんですけれども、急遽、今年度から土日で 1 泊 2 日の研修に自衛隊さんが切替えられましたことから、この度については参加を見合せましたことから、執行残を整理させていただくものでございます。それから研修関係につきましては、統括的な研修等に対応できるように組んだ予算ですけれども、執行残について整理するものでございます。以上でございます。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）二つ目なんですけども、ふるさと納税の委託金がですね、441 万 8,000 円と、かなりの金額で減額されております。それは、ふるさと納税を使う方々が少なかったのか、どういう理由で減額が 400 万以上になっているのか、その辺りの御説明をお願いします。

○委員長（宗像）財政経営課長。

○財政経営課長（倉本）こちらの減額につきましては、ふるさと納税を募るに当たりまして、ポータルサイト、パソコン上で運営しておりまして、そこに係る業者委託料、手数料、それから応援金の代金等が当初の見込みを下回ったために減額をしたものでございます。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）件数については、増減はあったんでしょうか。

○委員長（宗像）財政経営課長。

○財政経営課長（倉本）件数については減少してるところでございます。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）続きまして、23 ページ、一番今回の争点になるかと思うんですけれども、まず、町民センターとか、プールの複合施設化について、746 万 8,000 円ですかね、計上されているんですけれども、東公民館については、以前から建替えをしてほしいであったりだとか、建替えに伴ってどういう機能が必要かというような検討を進めていたかな

と思います。しかしながら、町民センター及び町民プールにつきましては、まだまだ耐用年数があるにもかかわらず、複合化することで、取り崩すという内容かなというふうに思うんですけども、そこについてはいささか問題があるのではないのかなというふうにと思いますが、この町民センター及び町営プールについての検討について、少し御説明をお願いいたします。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）令和6年11月に開催させていただきましたまちづくり特別委員会において、大きな公共施設の適正な配置についての基本原則というものをお示しさせていただきました。このときに、町内4地区に一つずつ大きな拠点施設ができるように、整備にいきいたいということで、東地区につきましては、東公民館と町民センターを一つにして東地区の拠点にしたいという説明をさせていただきました。その際、委員がおっしゃったように、町民センターの建築はまだ浅いということで、町民センターが検討時期を迎えたときに検討しようという説明を一旦させていただきましたけれども、この度、東小学校、海田小学校の整備、あわせて、複合施設を整備するほうが、施設を整備するほうが、財源的に有利であるということが判明しましたので、それを前倒しをさせていただいて、やらせていただきたいという説明をさせていただいておるところでございます。で、プールにつきましても、御指摘のとおり、まだ使える状態ということですので、これを本当に潰していいのかどうかということについては、総合教育会議を開催しまして、教育委員さん等の意見を伺いながら、あそこ、プールのところを候補とすることについて御意見いただきながら、候補とする段階から、その前から御意見いただきながら、検討を始めていきたいというふうに考えております。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）これについては、以前の説明では、東小学校の建設とあわせてすることによって、有利な財源がとれるというお話だったと思うんですけども、そうであるならば、待ったなしの東小学校の建替事業に影響があるのではないのかと思います。というのも、先ほど言われたように、各住民さん、委員の中からの意見聴取、それから、もろもろの整理におきまして、期間的な余裕というのはないんじゃないのかなというふうにと思いますが、その辺りはどのようにお考えなのでしょうか。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）委員おっしゃられるようにですね、児童の安全性の確保という

のが、最重要な課題っていうのは重々承知をしておるところですけども、一方で、小学校を確実に整備をするための費用を捻出しなければいけないという、この両方をですね、解決する手段として、全員協議会のほうで資料のほう、我々のプランのほうを提案させていただいております。検討する時間が短いっていうところにつきましては、小学校のスケジュール、整備のスケジュールを遅らせないようにすることを最優先として、それに合わせて、その中でできる範囲で、我々のほう努力を精いっぱいさせていただいて、できるだけ客観的なデータですとか、専門家の意見を集めて、判断していただけるような材料をそろえたいというふうに考えておりますので、どうか御理解いただければと思っております。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）はい、理解はできませんが、お考えは分かりました。海田小学校の敷地内に複合施設を造るということに対してのコンサル料 1,000 万超、強を挙げていらっしゃるんですけど、これに関しても、どちらに関しても、期間的にかなり無理がある計画になっております。財政の問題か、こどもの命、安全、どちらが優先かというやはり、こどもたちの命、安全が最優先されるべきであり、もう一つの問題としては、一遍に、この四つの施設を建てるということは、また、同じ期間で、同じ問題が起きるということです。将来、将来ですね。耐用年数というものは大体同じようにやってきますから、それを鑑みても、なかなか承服できるような内容になっていないと思います。その期間の短さについて、よくよく考えられてっていうことでしょうか。住民さんの御納得、それから、議会の納得が得られるというふうに見積もってらっしゃるのでしょうか。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）これまで、様々な観点で資料を作成させていただいて、御説明もさせていただきました。ただ、それは我々職員のほうが知り得る範囲で精一杯まとめた資料でございます。ここに不足しているものとしてですね、住民さんの直接的な意見ですとか、専門家、学識経験者の専門的な意見ですとかというのは不足していると思いますので、それをこの短い期間ではありますけれども、精一杯集めさせていただきたい。それから、この配置であれば、児童の安全と併設する施設の両立ができるんじゃないかっていうような配置案、ゾーニング等についても、専門事業者の力を借りながら、目に見える形で御提示することによって、御判断いただける、レベルが一つ上がるんじゃないかなというふうに考えておりますので、そういった費用を計上させていただいております。

ますので、御理解のほうよろしくお願いいたします。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）小学校との複合施設化、隣接も含めてでございますけれども、前町長のときに問題になりまして、そこについては、今後そういうことがないようにされるというふうに御答弁されたと思います。にもかかわらず、この短期間で、しかも、前回の町長、前町長同様ですね、こんな短期間で、短期間では無理ってあれほど言ったにもかかわらず、短期間で無理やり出してくるというのは、どうなのかなというふうに思うんですけれども、それは、以前、確か、両方急務であるので単独で建て替えるというふうに言われてましたが、その辺りの整合性、とれないんじゃないのかと思いますが、前回の言われた答弁に対しては、覆すということでございましょうか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）委員長にちょっと伺いたいんですが前回の答弁で、両方建てるって言ったという御指摘なんですけども、竹野内町長のときの答弁でそういうことがあったということでございましょうか。ちょっと確認のほうさせてください。

○委員長（宗像）確認ですね、はい。できれば、こういうときには、質問の趣旨を確認したいんでってということで、手を挙げてください。玉川委員。

○委員（玉川）前町長のときにですね、小学校との複合施設を考えないというふうに明言されたかと思います。ということで、それぞれ急務であるということで、私たちも特別委員会等を開いて意見を述べさせていただき、単独でということで決したと思います。そこについてでございます。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）はい、大変ありがとうございました。東小学校については、前町長のときに、小学校と公民館をリアルにひっつけるというか、合築の提案をしたものというふうに理解をしております。様々ございまして、そういった案はなしというところで、今、東小学校は、いわゆる単独で建っているというところでございます。はい。ただ、今回は、町民センターと東公につきましては、東小とは別に、道路を挟んだ敷地内に複合して、それが面整備になりますので、東小の本体のほうにも有利な財源にあたるということで、一緒にやらせていただけないかという御提案をしているところで、海小のほうにつきましては、やはり合築ではなくて、小学校の敷地内をいただくということになるのかと思いますけど、その中で、施設を誘導してきて、これもあわせて、海田小学校の建

替えの財源に有利なものを充てようと。まず、誘導してきた古い施設も一緒に、何ていうか、整備すれば、公共施設の集約化ということにも資するということで、御提案をさせていただいたものでございます。前回の全協でもお話ししましたように、これについては、いわゆるゼロベース、海小のほうですね、ゼロベースで検討させていただきたいというふうに答弁をさせていただいております。その前の本当のゼロもあり得るという想定も踏まえて、御答弁させていただいていると思いますので、是非、これで進めさせていただいて、責任ある資料のほうを作成させていただきたいと、そういうふうに考えております。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）前回、私どもが反対した理由の大きなところに、余りにも、住民さんへの説明であったり、安全性の検討であったり、こういうところに時間がない。複合施設にすることが駄目と言うてるんじゃないかって、他の市町では、かなり長い年数をかけてやっていらっしゃるところを、早急に出すことについて、差戻したという認識で、私たち、ほかの人もそうだと思うんですけど、おります。にもかかわらず、また同じことをしておられる。その、私は、ちょっとこの考えが理解できません。その辺り、御理解なかったんでしょうか。前回、なぜ、否決されたのか、私たちがノーと言ったのか。そこについて理解されてないんでしょうか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）前回、ちょっと繰返しになりますけど、小学校と公民館をリアルに建物をひっつけるという合築の提案であったということ。で、議員の皆様が視察に行かれた豊田市の浄水中学校・交流館についても、完全な合築で、美術室、多目的室、調理室等が完全な共用、で、時間になったら鉄のシャッターというか、ロールシャッターみたいなのがギーンと降りてくるような設えになっておりました。そういうところで、安全対策であるとか、特にその利用ルールの作成に非常に時間がかかったというふうなところをお聞きしたというふうに、私も理解しておりますので、今回は、合築ではなくて、小学校の合築ではなくて、敷地内ということではありますけども、いわゆる併設した施設ということで、その前提条件は違うのではないかという理解でおります。合意形成については、時間の長さというのも当然必要ではございますけれども、設計内容の明確化というのが非常に大事になってくると思っておりますので、こういった業務を通して、抽象論から具体論に移る過程の中で、皆様の不安というか、そういうものが払拭できれ

ばと、そういうふうに考えております。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）まず認識のずれがあるというふうに思いましたのは、住民さんとの意見調整であつたりとか、そこに対して御理解をいただくのに長く時間がかかったと私たちは聞いております。その認識はずれていると思います。それが1点。それから、もうゼロになるかもしれない。その可能性があるのに、1,000万円、このコンサルに使うということは、1,000万円どぶに捨てる可能性が高いということではないのかなというふうに思います。そういった予算をこの時期にぎりぎりになって無理やりこう押し込んでくる理由は、なぜ、ここじゃないといけないのか。もっと先について、考えて、準備をするんだったら理解できます。なぜ、今ここじゃないといけないんでしょうか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）すいません、1点目の認識の違いというところなんですけども、おっしゃるように、合意形成に時間がかかったというふうにおっしゃられておりました。ただ、繰返しになりますけど、建物の前提が違うということもあるということはどうしても御理解いただきたいと思います。小学校と公民館がリアルにひっついていて建物と、少なくとも、違う、別棟の建物を造るということで、その前提条件が違うという前提で、私のほうはちょっと、予算を組みました。ゼロになるかもしれない予算を組むということについてでございますけれども、今回、それぞれの合築で、費用が合計で10億、11億近く圧縮できるということでございますので、やはり、ここはきちんと整理をして、説明責任を果たす必要がやっぱりあると思っております。我々はゼロベースで提案をすると申しまして、ゼロもあり得ると申しました。これ、ゼロベースと言った以上、僕は腹をくくってますけども、それでもやはり将来の財源等を踏まえると、やり方をしっかりと整理をして、財源を獲得していくことが大事であると思っておりますので、そこら辺も踏まえまして、しっかりと、議員の皆様も、最終的に、その資料を見て御判断いただけるものだと、思うんです。今まで議論を尽くされたという御意見も前回いただきましたけれども、今回は更にそれを踏み込んで、配置案であるとか、ゾーニングであるとか、安全対策の基礎であるとか、そういうきちんと示した上で、それでも駄目だというのであれば、私どもも、もうそこは、ゼロと言った以上、受入れざるを得ないのかなというふうに認識はしておりますけれども、今この段階で、多額の自己財源を、やっぱり、その、捨てると言いますか取りに行けない状態で進めるのは、なんか惜しいという思いか

ら、やはりやらせていただきたいと思っております。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）前提段階が違うというふうにおっしゃられましたけれども、逆に言うと、私たちが見たところは、広い敷地に大きな駐車場もございました。でも、逆に、うちのほうが今やろうとしてるもののほうが、問題が大きいんじゃないのかと思います。小さな敷地の中で、小学校のスペースを少し小さくしてでも横に建てるというような、じゃあ、駐車場はどうするんだ、じゃあ、その境界、上から見えるのか、そのような問題山積なのにもかかわらず、前提が違うっていうのであれば、今回のほうが悪いですよ。それをちゃんと理解されているんですか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）はい、ですので、これをきちんと書類の整理をしまして、議論のたたき台となるものを御提示したいということで、今回、予算のほうを計上させていただいているというところでございます。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。小田委員。

○委員（小田）50 ページ、母子保健費の説明 6、子育て家庭おむつ支給事業ですが、65 万円の減額理由は何でしょうか。

○委員長（宗像）ひまわりプラザ館長。

○ひまわりプラザ館長（北川）こちらは支給個数が見込みよりも少なかったためでございます。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）それは、生まれた数が少なかったのか、それとも、見込みの数の方が取りに来られなかったのか。どういった理由でしょうか。

○委員長（宗像）ひまわりプラザ館長。

○ひまわりプラザ館長（北川）生まれた数が見込みよりも少なかったためございまして、対象の方につきましては、今、1 月現在で 99.8 パーセント、ほぼ全員の方に支給できております。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）ちなみに何で少なかったんでしょうか。

○委員長（宗像）ひまわりプラザ館長。

○ひまわりプラザ館長（北川）見込みでは、600 人程度を見越していたんですけども、500

人程度になる見込みでございます。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）次に 53 ページ、塵芥処理費。説明 1、ごみ収集処分事業 1,800 万円の減額理由は何でしょうか。

○委員長（宗像）地域みらい課長。

○地域みらい課長（山田）入札による執行残でございます。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）次に、ページ戻りまして、21 ページ最下段、財産管理事業 1,073 万 8,000 円でございますけれども、全員協議会でも申し上げましたけれども、これまで、職員でいろいろ検討され、それから、有利な財源を見つけて来られ、議論は既に進んでいるかと思えます。先ほど玉川委員の答弁にもありましたように、ゾーニング等々いうことでしたら、基本設計に入る段階での建設業者に任しても、ゾーニング等はできるんじゃないかと思いますが、この段階で、1,000 万以上を投じる必要があるのかどうか、今一度御答弁願います。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）海田小学校のほうのことだと思いますけれども、具体的に何を造るか決まった後に、プロポーザルの計画に入りますので、何を造るかっていうのが、児童の安全性と教育に与える効果等々の観点から、何がいいかっていうのを今検討する段階だと思います。それを、我々案、ゼロベースで、今までは図書館ベースで説明してきましたけれども、ゼロベースで検討させていただくということで、何がいいかっていう検討する段階で、この施設でこの配置なら安全性と教育効果を両立できるんじゃないかっていうのを御判断していただくために、この段階でこの予算を計上させていただいて、御検討いただきたいというふうに考えているところでございます。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）これも全協でも言いましたけれども、公共施設ってそんなに数多くありません。安全性を確保できる公共施設もそんなに多くないというふうに思っております。であるならば、どれにするかという検討に 1,000 万は、私は高いと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）繰返しになってしまうかもしれないんですけども、これまで

不足してた客観的なデータですね、近隣の住民さんですとか、学校関係者の皆さんの御意見を集めたりですとか、学識経験者の皆さんの御意見を集めたり、それから専門事業者による観点で、全国的な類似の事例を調べたりとか、そういった点で検討をもう一段引き上げるために必要な予算ということで考えております。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）類似の施設については、もう既に、執行部のほうでされているのではないかなというふうに思います。で、その結果、これまで開かれた委員会で、様々な資料を提供していただいたんではないかなというふうに私は理解をしております。で、住民等へのアンケートでしたら、1,000万円もかける必要なくできると思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）はい、おっしゃられるとおり、できる範囲できることはあろうかと思えますけれども、やはり短い期間ということもありますので、こういったことに長けている専門事業者の御協力をいただきながら、短い期間で、質の高い検討のほうをさせていただきたいというふうに考えております。

○委員長（宗像）小田委員。

○委員（小田）先ほども申し上げましたけれども、町内にある公共施設、そんなに数多くあるわけではありません。専門業者に頼んだからといって、新しい案が出てくるとは、私は考えづらい。であるならば、今の物価高騰で、住民の皆さんが、暮らしの応援金給付を待っておられる状況の中で、この1,000万円を、ここに投じるって言ったら、私は、どうしても高いというふうに感じますが、その点についていかがでしょうか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）この1,000万は、海田小学校の敷地に何を造るかというところの検討業務でございます。で、小田委員が言われたように、何ていうか、そんなに施設は多くないと言われました。確かにそうだと思います。その組合せを、やはり、少ない中でもパターン化して、安全対策であるとか、いろんなものを、皆様に分かっていただけるような配置とかゾーニングとか、そういう資料をつくるための費用でございます。で、この1,000万が、資料、この業務の成果で、海田小学校は6.8億、なんて言うんですかね、施設誘導しければ落ちると言っておりますので、やはりその基礎となるための資料をつくるものでございますので、ゼロベースなので、先ほども言ったように、ゼロならば

分からない、ですけれども、我々はゼロにしたいという思いで、当然予算をあげているわけですので、きちっと6億以上のお金を回収するための、きちんと資料に仕上げたいと、そういうふうに今、思っているところです。

○委員長（宗像）西田委員。

○委員（西田）続いて関連質問になるんですけども、先ほど、有利な財源を取りに行きたいっていう表現をされたんですけども、全然考えずに小学校を建替えしようとしよったんですか、っていうふうに聞こえちゃうんですよね、正直。で、いろんな学識経験者とかいろんな人の意見を聴いてって、今更ながら、海田小学校とおっしゃってますけど、私が前から言う、その、海田町のキャパという言い方で、今、海田東小学校区だけで200世帯。で、続いてJRが進むと500世帯っていう。実は南小学校区も100世帯以上、今、開発が進んでるんです。今度、南小学校が増えるんですよ。南小学校、パンパンになるんですよね。今、700人規模。そんなこともちゃんと考えて、小学校の計画を立てられてるんですか。今、おられる議員さんで、その辺、御存じの方もおられるし、御存じない方もおられるんですけども、そういうこともちゃんと考えてですね、だから、そんな余分なものをかける余裕は多分ない。そこらもちゃんと考えられてるのかどうかっていうの、で、最初の有利な財源をわざわざ取りに行くっていう、ちゃんと考えてなかったのか。考えたけど、そのときはなくて、突然今、現れたのか、ちょっとその辺お聞かせください。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）1点目のほう、私のほうから御答弁させていただきます。今年は7月にまちづくり特別委員会を開催させていただいて、収支見通しを御説明させていただきました。

○委員長（宗像）昨年ね。

○資産活用課長（久保隅）ごめんなさい。今年度の7月です。そのときに想定を上回る資材、労務単価の上昇等で、学校整備事業費が膨らんでいるという説明をさせていただきました。今後、東部連立等ございますので、何とか、町の負担を減らしたいということで、何とかその特定財源の活用を研究させていただくというふうに説明をさせていただいて、教育委員会のほうは文部科学省の補助金を検討され、我々のほうは様々な観点から検討した結果、有利な財源が見つかったということで説明をさせていただいた次第でございます。

○委員長（宗像）いいですか。

○委員（西田）全体的なことっていうのは。

○委員長（宗像）最後、はいじゃ、西田委員。

○委員（西田）そういう部分で、財政負担がとおっしゃるならば、ほかの委員会でも言いましたけど、給食室をやめれば8億7,000万出てくるでしょって言ったんですね。だから、自分らがやりたいことは、お金を使うんです。あんたらの言うことは聞きませんっていうふうに分かるわけですよ。議員の、そういう話を、今、皆さんおっしゃってるんです。ね。それが、住民さんにとって本当に正しいのかとか、今のね、今、開発行為がどんどんどんどん進んでるのに、学校の敷地は小さく、もしかしたら、学校の区割編成をせんとはいけんような状況が起きるはずなんです、今の話だとね。そこら考えずに、自分らの計画は進めにゃいけんのんですっていうふうなことを考えて、有識者っていうふうにおっしゃってるけども、どの辺の情報を入れられ、その辺の情報は入れられるんですか。海田小学校について。ちょっと聞かせてください。踏まえて。

○委員長（宗像）教育長。

○教育長（森山）まず、児童生徒数の増減というところの目安でございますけども、ベースとしておりますのは、令和2年度にですね、策定をした、学校施設長寿命化計画のときの人口ベースをもとにして、児童生徒数の増減を見て、この度の海田東小学校については、予定をして、いわゆるプラス100人ぐらいの規模で対応可能ということで今教室の設えとかですね、検討しているところでございます。海田小学校につきましても、基本的にはその当時の令和2年のときの人口動態をベースにして、増減等を見ておりますけども、状況的にはですね、令和12年程度をピークに下がっていくということの現状の中で、令和7年度ベースで見たときにもですね、予定よりもですね、増減としては減っている状況でございますので、現状としては、海田小学校の建替えについて、現状の学級数または多少プラスで見るということが可能ではないかなというふうに思っております。ただ、海田南小学校については、現状パンパンな状況というのはもうお察しのとおりで、状況によっては、学校4校の中でもですね、やはり、児童生徒数のばらつきがございますので、将来的には状況によってはですね、学区再編等見直しもしながら、バランス良く学区割をしていかないといけないということは、教育委員会会議等の中ではお話をしているところでございます。

○委員長（宗像）よろしいですか。ほかに質疑ございますか。多田委員。

○委員長（多田）いろいろ意見が出ておりますが、まず、一番大事なことは、南海トラフ地震なんかが起きる可能性が指摘されておりますので、できるだけ早く小学校の建替えを進めるというのがまず第一なんですよね。そこを第一に考えていただかないと、で、中で、今、有利な財源を見つけて来られて、今から進められようとしているわけですから、取りあえず我々としては、この予算の中で、具体的な案を示していただき、それで、その中で検討していったらいいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）はい。そのようにしてまいります。

○委員長（宗像）多田委員。

○委員長（多田）それともう一つ、もしも、この東小、特に東小の場合はですね、この施設がノーということになった場合、以前のように、東公民館や町民センターはともかくとして、東公民館の建設がどれぐらい遅れるんかというのを、ちょっと、危惧するわけなんですけど、かなり遅れるんじゃないかと。どれぐらい遅れる見込みなんでしょうか。

○委員長（宗像）資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅）これまでも資料で御提示させていただきましたけれども、東小学校と一体的に整備をすることで、東小学校の財源が 4.7 億円、町民センターと東公民館の整備のほうで 1.6 億円、合計で 6.3 億円削減できると、我々のほう試算しています。もし、これが一体整備にならなかったときに、このお金をどうするのかっていうのをしっかり議論をしていかないといけないと思っておりますので、できなかったら次はいつできるっていうのは、現時点で申し上げることは難しいと考えています。

○委員長（宗像）多田委員。

○委員長（多田）当然ですね、東小の建替えが終わった後に、当然その話が出てくるわけですから、恐らく、あと 10 年ぐらい後に、公民館の建替えというのは俎上に上がってくるんじゃないかと思います。ですから、今回の、せっかくの有利な財源見つけて来られて、一石四鳥の、一回で四つの施設が完成するという、せっかくのところをみすみす逃す手はないと思うんですよ。で、プラス、海田小学校の場合は、確かに敷地が多少狭くなるっていうのはありますが、我々の時代は、海田小学校 1,200 人おったんですね。ピークのときは多分 1,500 ぐらいいったんじゃないと思うんですよ。その中から、その規模であった小学校が今、400 弱ぐらいまで減ってるわけですから、400 弱の生徒の中では、かなり規模が大きすぎる場所もあります。ですから、海田小の敷地が多少狭く

なる。これは、もうこれで、いいアイディアだと思うんですよ。ですから、是非このまま私としては進めていただきたいというふうに思います。

○委員長（宗像）これ、質疑ですから、質疑に気を付けていただくようお願いします。ほかに質疑ございますか。石橋委員。

○委員（石橋）35 ページの、生きがい対策事業なんですけども、単位老人クラブ補助金、また老人クラブ連合会補助金、高齢者の居場所づくり事業補助金がですね、減額されております。これはどういう理由でしょうか。

○委員長（宗像）長寿保険課長。

○長寿保険課長（岩本）単位老人クラブ、それから、老人クラブ連合会につきましては、クラブ数及び会員数が減少しまして、見込みを下回ったために減額するもので、高齢者の居場所づくりについては、申請団体数が見込みを下回ったため減額するものでございます。

○委員長（宗像）石橋委員。

○委員（石橋）この生きがい対策事業に今、クラブの全体が減少してきたからということで、なぜこれがこういうふうに減少してきたかというような、解釈、また、理由とかいうのは把握して、この減額を見ておられるのでしょうか。減額になったというふうに、どのように考えておられますでしょうか。

○委員長（宗像）長寿保険課長。

○長寿保険課長（岩本）当初予算を計上するときには4月1日現在のクラブ数及び会員数で積算しておりますので、今回は実績に見合って減額するものでございます。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。夏野委員。

○委員（夏野）23 ページの電算管理費に関してお尋ねします。こちらのほうのデジタル化推進事業に関して、執行残と未執行が多々あるんですけど、これはもう、どっちかに捉えられると思うんですけど、いわゆる事業の未実施なのか、それとも、何かうまくコストカットができたのかっていうふうに捉えられるんですけど、どちらなのか、合理的な説明をお願いします。

○委員長（宗像）デジタル推進課長。

○デジタル推進課長（富田）デジタル化推進事業の中の執行残の部分ですけれども、こちらには入札による残額になりまして、実際には事業自体は執行しておる状態でございます。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。玉川委員。

○委員（玉川） すいません。ちょっといろいろな人のお話を聞く中で、もう一回ちょっとよく分からなくなったんで、再度お聞きします。東小学校と海田小学校、この2校だけを建築した場合と、小学校プラス、それ以外のものを建てて、有利な財源を使ってやった場合、小学校2校を単体で建築するよりも、四つ造ったほうが安くなるという認識ですか。

○委員長（宗像） 資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅） これまで全員協議会の資料でお示ししたとおり、委員おっしゃるとおり、そのほうが、自己負担が減るという試算をさせていただいております。

○委員長（宗像） 玉川委員。

○委員（玉川） ということは、無料で複合施設が建つという理解ですか。そういう理解ですか。違うと思うんだけど、本当にそうなんですか。

○委員長（宗像） 副町長。

○副町長（夏目） すいません、ちょっと補足をさせてください。前回の全員協議会で示した案は、一方は、複合施設ありきで建てたもの、もう一つの案はですね、単独で建て替える。で、地区拠点のほうは、後年度に、改めて町民センターと東公民館を合築した施設を造る。その場合は、今年度に造るもんですから、東小の財源が捻出できないというデメリットがあります。で、中心拠点のほうは、もう、図書館は、後年度に新築するっていうんじゃないくて、仮に長寿命化したとして比較をさせていただきました。その2案になります。

○委員長（宗像） 玉川委員。

○委員（玉川） ということは、海田小学校、東小学校だけを建築したほうが、ほかの施設を一緒に建てないとすれば、そっちのほうが安いというような理解でよかったですか。

○委員長（宗像） 資産活用課長。

○資産活用課長（久保隅） すいません、説明悪くて申し訳ありません。総事業費は、今おっしゃったように、小学校2校建てるだけのほうが安いんですけども、ですけども、特定財源、国等からの特定財源、交付税が入ることによって、町の持ち出し分、町の自己負担分は少なくて済むということでございます。

○委員長（宗像） だから、実質、ただで建つ部分があるということね。どうなの。玉川委員。

○委員（玉川） ということは、建替えなくてもいい町民センターとか、もろもろを建てよ

うとしてるじゃないですか。ということは、待ったなしの小学校だけを建てたほうが、財政的には安全ということじゃないんですか。

○委員長（宗像）誰が答弁するんですか。企画部長。

○企画部長（脇本）私どもが提案した、海小のほうから言いますけども、小学校を単体で建てた場合と、一緒にした場合、どちらが安いかなという御質問の趣旨。違う。すいません。はい。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）私が申し上げてるのは、他の施設を除いて、小学校2校を建てる総費用と、総費用ですよ。総費用と、この皆さんが出していらっしゃる同時に複合で、同時期に、ケース2ってやつですかね、前の資料でいうと、その総費用。総費用と総費用を比べた場合に、普通に考えたら、小学校2校だけ建てたほうが安いはずなんです。そこを聞いてるんですけども。

○委員長（宗像）企画部長。

○企画部長（脇本）いわゆる建設費、総費用、総投資的経費だけを見ると、見ると、小学校2校だけのほうが、それは安うございます。はい。はい。ただ、ただ、すいません、やっぱりちょっとそこを追記させていただきたいんですけど。

（「聞かれたことだけ答えてください」と呼ぶ者あり）

○企画部長（脇本）いや、でも、ごめんなさい。これはどうしても言っとかんといいかんと思うんですよ。駄目、駄目ですか。分かりました。はい。

○委員長（宗像）僕は、当初の段階で、的確に、聞かれたことに的確に答弁してくださいと。

○企画部長（脇本）総事業費だけを比べると、小学校2校のほうが当然安うございます。はい。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）質疑なしと認めます。歳出のほうの質疑を終結します。歳入のほうに移ります。歳入のほうで何か質疑、皆さんございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）はい、質疑なしと認めます。歳入の質疑を終結します。

その他、歳入歳出以外の点で質疑はございますか。また、質疑漏れがあれば許します。

岡田委員。

○委員（岡田）ここにちょっと出てこないんですけど、例の繰越明許か何かで出てくるんじゃないかと思うんですけども、三迫の三丁目の出合橋ですよね。あそこずっと工事が止まってるんですけども。ちょっとあそこのところね、ちょっと説明をお願いしたいんですけどもね。

○委員長（宗像）一応質疑があったんで、答弁をお願いします。建設課長。職名名乗ってね。

○建設課長（早稲田）12月議会のほうで、繰越の承認をいただきました。で、今現在のところ、今の2号橋、出合橋2号橋のほうができまして、その道路のかさ上げが、この3月末までに終わる予定でございます。それに引き続きまして、あと残りの工事も進めていく予定でございます。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）質疑なしと認めます。質疑を終結します。以上で、一般会計補正予算の審査を終わります。この際、暫時休憩します。執行部の方は退席してください。再開は退席後、直ちに。

（執行部退席）

~~~~~○~~~~~

○委員長（宗像）はい、休憩前に引き続き委員会を再開します。これより第8号、令和7年度海田町一般会計補正予算第9号を採決いたしますが、ここで、玉川委員から第8号議案、令和7年度海田町一般会計補正予算に対し修正案が提出されておりますので、この修正案を議題といたします。これより修正案を配付いたします。

（修正案配付）

○委員長（宗像）提出者より説明を求めます。玉川委員。

○委員（玉川）令和7年度海田町一般会計補正予算の修正案について、御提案理由を説明させていただきます。この度、町民センター、それから海田東公民館等複合施設整備事業及び海田小学校施設内併設施設検討事業が提案されております。まず、このうち、海田小学校施設内併設施設検討事業につきましては、昨年来、海田町長、竹野内町長が、選挙公約を前面に打ち出して、滞在型図書館を建築しようとして提案されてきたという経過がございます。我々議会としましては、小学生の安全性の問題、それから、複合施設を併設することについて住民と意見調整等を行っていないなどのことから、反対をし

てまいりました。他市町では皆様も視察に行かれた方も多いかと思いますが、数年をかけて、住民の意見調整を行って、事業に踏み切っております。当初、海田東、海田小学校の建替えは、建築強度がなく待ったなしの状況であるという説明を受け、建替えを最優先にしたいとのことで、私たちも納得したところでございます。特に、海田東小につきましては、前町長によって、海田東小学校、訂正、海田東公民館との複合施設を提案されましたが、安全性の問題や公民館の駐車場の問題など、細かな調整が全くなされてなかったために、複合化すべきではないとしたところでございます。そのとき、今後は、小学校との複合施設を考えないと明言をされました。まずは、待ったなしのこの海田小学校の建替えに専念すべきであり、海田東小学校、海田小学校、それぞれ、このような事業のプラスアルファについては検討すべき時期にはないと考えております。しかしながら、海田東小学校の複合施設化が今回困難になりますと急遽、建替えが必要な海田東公民館の建替えについて、複合化を提案されてきております。まだ耐用年数に達してなく、たくさんの税金を導入してきました町民センターの建物でございましたり、建築後10年程度しか経過していない新しいプールを解体して複合化する理由が、明確になっておりません。滞在型図書館問題時に、耐用年数等が来た施設に対しては複合化を検討すると、私たちに説明して来られましたが、それとも矛盾しております。私たちも、海田東公民館の建替えについては賛成ですが、この提案におきましては、合わせ技というんでしょうか、私たちを攪乱しているようにしか見えません。先ほどの答弁でございましたも、あたかも、全てを建替え、合築したほうが安くなるというような説明をしておきながらも、結局のところ、小学校2校だけ建替えたほうが安価であるというふうに、答弁を変えております。これらのことにつきましては、明確な説明をしていただくことが必要です。そのことと、海田町の地区拠点である点を強調されるのであれば、地区拠点としての方向性であったり今後の施設の配置計画を明確にした上で予算を計上すべきと考えます。しかし、古くなってきております海田東公民館の建替えにつきましては必要だと考えます。建替えにあわせて複合化するのであれば、まずは我々議会としっかり協議を行い、その上で住民の理解を得た上で予算計上をすべきだと考えます。方向性を決定するまでには、予算計上すべきではないと考えます。そうでなければ、織田幹雄記念館同様、地区住民も望んでいる単体の建替えを急いで行うべきだと考えます。以上のことから、町民センター、海田東公民館等の複合施設整備事業及び海田小学校敷地内併設施設検討事業の予算の減額を提案するものでございます。また、2件の事業予算の

減額に伴い、予算書の第2表の繰越明許費の補正のうち、第2款、総務費、第1項の総務管理費、財務管理事業費等につきましては、削除するものでございます。以上で、提案の理由の説明を終わります。皆様の御理解、御賛同を願います。よろしくお願いいたします。

○委員長（宗像）以上で説明を終わります。質疑があれば許します。崎本委員。

○委員（崎本）いろいろ言われたが、私も一部はあれじゃが、単に言うたら、私は、東海田小学校を緊急にやるべき案だから、今更どうのこうのじゃなしに、海田小学校の建築は、早急に建て替える必要があると思いますので、そのような方向性で、この予算を反対されるんなら賛成ですが、何もかにもごっちゃで反対されるのは、私は、何か一つにまとめて、ね、海田東小が、私らの、皆さんの意見は、複合化に反対じゃから、東海田小学校は即ちやるべきと、皆さんの議決、決議案か何かを出して、早急に建て替えるようにと、建築の、これが決まったように私は考えておりますので、これが優先的にやってもらえるんだったら、今の案に賛成ですが、何もかにも削るちゅうのには、ちょっと反対ですが、そこをまともに、ちょっと短縮にぱっとやってもらえんでしょうか。

○委員長（宗像）玉川委員。

○委員（玉川）本当におっしゃるとおりだと思います。海田東小学校、海田小学校、これを早急に建て替えるということが、まず一番、大優先だと思います。だから、そちらを優先して進めるためには、今のような複合施設であつたりだとか、施設内のコンサルを使うというようなことに専念するのではなく、もう、先にこの2校を建替えていただくということで、この予算のほうを削除するという提案をさせていただいてるところでございます。

○委員長（宗像）ほかに質疑ございますか。大江委員。

○委員（大江）私としては、海田東公民館がもうかなり51年っていう年数がたって、今これを却下すれば、もっともって延びるということは、もうすごい、体育館なんかトイレとか、入り口のドアとかもうぼろぼろなんですよ。これ以上待ったら、本当に、大変なことになると思ってますので、私は、半々っておかしいんですけども、海田東のほうは、もう余りにも古すぎるから、それはやはり、建替えの分で考えても、一応この案を通して考えて、その上で、無駄なお金になるかも分かりませんが、やはり検討の必要があるんじゃないかと。それで、海田小学校のほうはまだまだ先のことで、そちらは延ばしてもいいんじゃないかと。私の気持ちとしては半々の気持ちです。以上です。

○委員長（宗像）質疑ですよ。意見を求めるんじゃないですよ。ほかに質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）質疑なしと認めます。質疑を終結します。これより本案及びこれに対する修正案を一括して討論を行います。討論があれば許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）討論なしと認めます。討論を終結します。

まず、玉川委員から提出された修正案について、起立により採決を行います。お諮りします。第８号議案に対する修正案に賛成の皆さんの起立を求めます。

（賛成者起立）

○委員長（宗像）いいですか。事務局。いいですね。事務局いいですか。はい、着席お願いします。起立多数と認めます。よって、第８号議案に対する修正案は可決されました。次に、ただいま修正可決した部分を除く原案について採決いたします。修正部分を除く部分について原案のとおり決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）異議なしと認めます。よって、修正可決した部分を除く部分は、原案のとおり可決されました。

この際お諮りします。委員会の報告については、委員長に御一任いただきたいと思いますと思いますが、それに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（宗像）異議なしと認めます。よって、委員会報告については委員長一任ということにさせていただきます。

以上で、予算審査特別委員会を閉会いたします。本日は御苦勞様でございました。

午後２時０５分 閉会

※ 会議の経過を掲載し、相違ないことを証するため署名する。

令和 8 年 月 日

予算審査特別委員会委員長